

第4章 医療費推計と実績の比較・分析

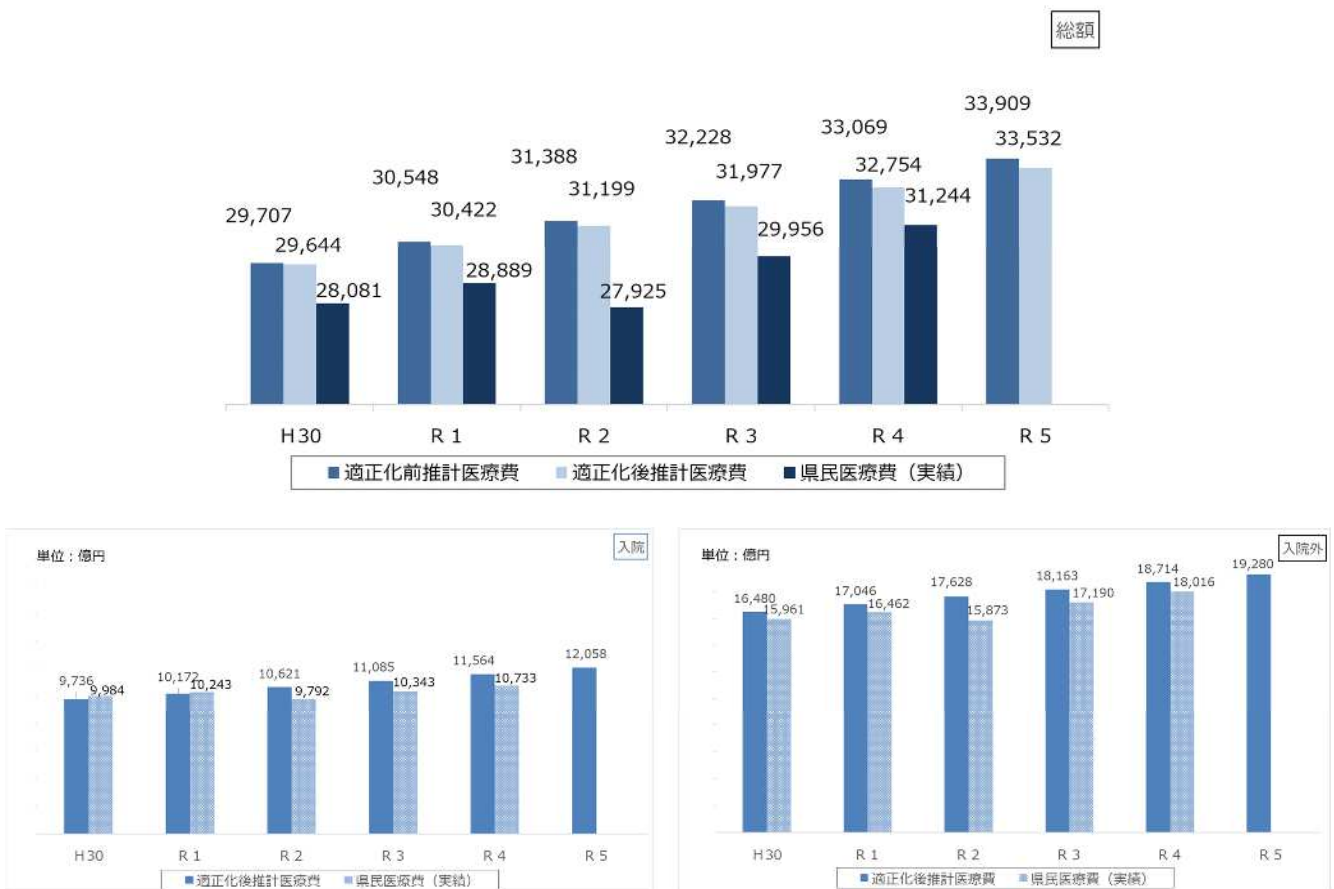
1 第三期計画における医療費推計と実績の数値について

第三期神奈川県医療費適正化計画では、医療費適正化に係る取組を行わない場合、平成30年度の推計医療費2兆9,707億円から、令和5年度には約3兆3,909億円まで医療費が増加し、医療費適正化に係る取組を行うことで、令和5年度の医療費は約3兆3,532億円となり、約377億円の適正化が図れると推計していました。

医療費の実績ベースでみると、医療費は適正化後を下回る水準で推移し、令和4年度の医療費は約3兆1,244億円で、第三期神奈川県医療費適正化計画との差異は約1,510億円でした。

医療費の適正化が図られたのは、入院医療費が推計医療費より低く推移したこともあり、生活習慣病等の重症化予防の推進や後発医薬品の使用促進の目標を達成したことや、特定健康診査等の実施率が着実に上昇していることが要因と考えられます。また、新型コロナウイルス感染症による受診控えや診療報酬改定も影響があったと考えられます。(図4-1、表4-1)

図4-1 医療費推計と実績の差異の推移(総額・入院・入院外)(県)



出典：厚生労働省 医療費適正化計画関係推計ツール
 厚生労働省 国民医療費(平成30年度～令和4年度)

表4-1 医療費推計と実績の差異(推移)(県)

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5 (実績見込み)
①適正化前推計	2兆9,707億円	3兆548億円	3兆1,388億円	3兆2,228億円	3兆3,069億円	3兆3,909億円
②適正化後推計	2兆9,644億円	3兆422億円	3兆1,199億円	3兆1,977億円	3兆2,754億円	3兆3,532億円
③推計適正化額	63億円	126億円	189億円	251億円	315億円	377億円
④実績	2兆8,081億円	2兆8,889億円	2兆7,925億円	2兆9,956億円	3兆1,244億円	億円
⑤実績適正化額 (①-④)	1,626億円	1,659億円	3,463億円	2,272億円	1,825億円	億円
⑥実績と推計の差 (⑤-③)	1,563億円	1,533億円	3,274億円	2,021億円	1,510億円	億円

入院

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5 (実績見込み)
①適正化後推計	9,736億円	1兆171億円	1兆621億円	1兆1,085億円	1兆1,563億円	1兆2,057億円
②実績	9,984億円	1兆243億円	9,792億円	1兆343億円	1兆733億円	億円
③実績と推計の差 (② - ①)	▲248億円	▲71億円	829億円	742億円	831億円	億円

入院外

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5 (実績見込み)
①適正化後推計	1兆6,480億円	1兆7,045億円	1兆7,628億円	1兆8,163億円	1兆8,713億円	1兆9,280億円
②実績	1兆5,961億円	1兆6,462億円	1兆5,873億円	1兆7,190億円	1兆8,016億円	億円
③実績と推計の差 (② - ①)	519億円	584億円	1,755億円	973億円	698億円	億円